



情報セキュリティの基礎基本 (情報セキュリティの基礎)

【ねらい】

情報セキュリティの基礎基本を理解し、学校現場特有の特徴に配慮した情報セキュリティ対策が実施できる

【ポイント】

- ① 情報セキュリティとセキュリティ事故の現状
- ② 情報セキュリティ対策 ～組織的な対策～
- ③ 情報セキュリティ対策 ～個人の意識啓発～

【活動】 情報セキュリティ対策を実践してみよう



ISMSの考え方

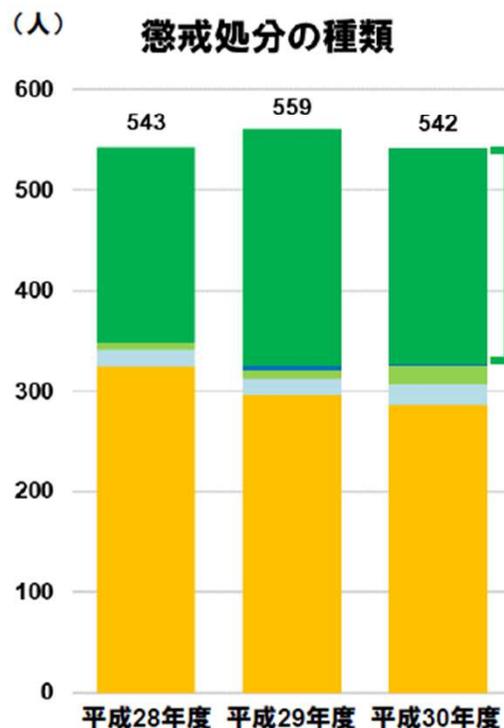
情報漏えいを防ぐ



【参考資料】

個人情報情報の不適切な取り扱いに係る処分について(1)

平成30年度
個人情報情報の不適切な
取り扱いによる処分
542人
監督責任による
訓告・戒告等
215人



監督責任による訓告・戒告等

非違行為を行った教職員への監督責任により、監督者も懲戒処分を受けることがあります。個人の意識を高めるだけでなく、学校全体で組織的に取り組む必要があります。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
監督責任による訓告・戒告等	195	233	215
免職	0	0	0
停職	0	5	1
減給	6	9	19
戒告	17	15	20
訓告等	325	297	287

「平成30年度公立学校教職員の人事行政状況調査について」(文部科学省) (https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinji/1411820_00001.htm)をもとに作成



岡山県内では

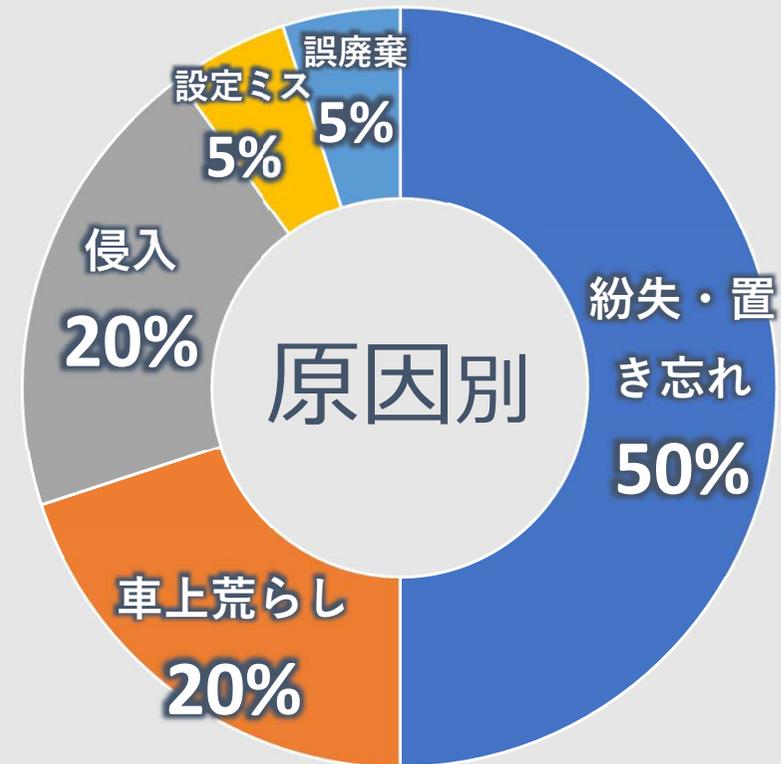
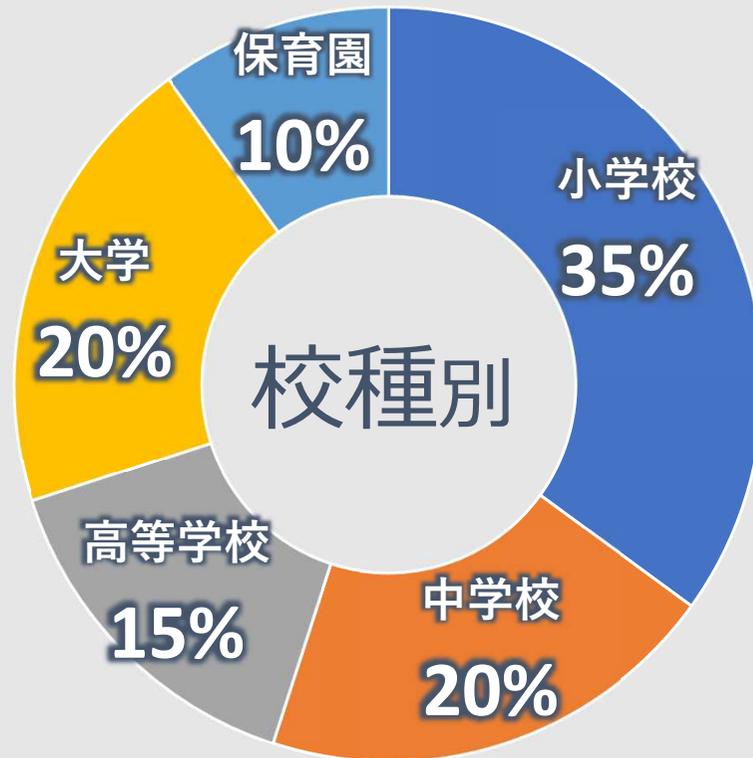
- 岡山県の小学校の校長が、児童などの個人情報を含むUSBメモリ3本を紛失。
- USBメモリには、児童の名簿や、オープンスクールや宿泊体験参加者の名簿、PTA役員の名簿が保存されており、氏名や住所、電話番号などの個人情報が含まれていた。
- 同校の校長が在宅ワークをするため、USBメモリを持ち帰ったが、2日後になくなっていることに気づいた。



過去
10年間

岡山県内の情報漏えい事故

事故件数 **20件** ※2010-2020.10 現在



引用 : <https://school-security.jp/> 学校情報セキュリティお役立ちWeb

情報漏えいが発生してしまったら

- 教育委員会に報告する。
- 危機管理委員会を招集する。
- 説明会（保護者・児童生徒）を開く。
- マスコミ対応を行う。



一度失った信用は…



情報が漏えいすると・・・

加害者

悪意を
持った人



加害者

教職員



被害者

児童・生徒
保護者



被害者



組織的な対策① ～ルールづくり～

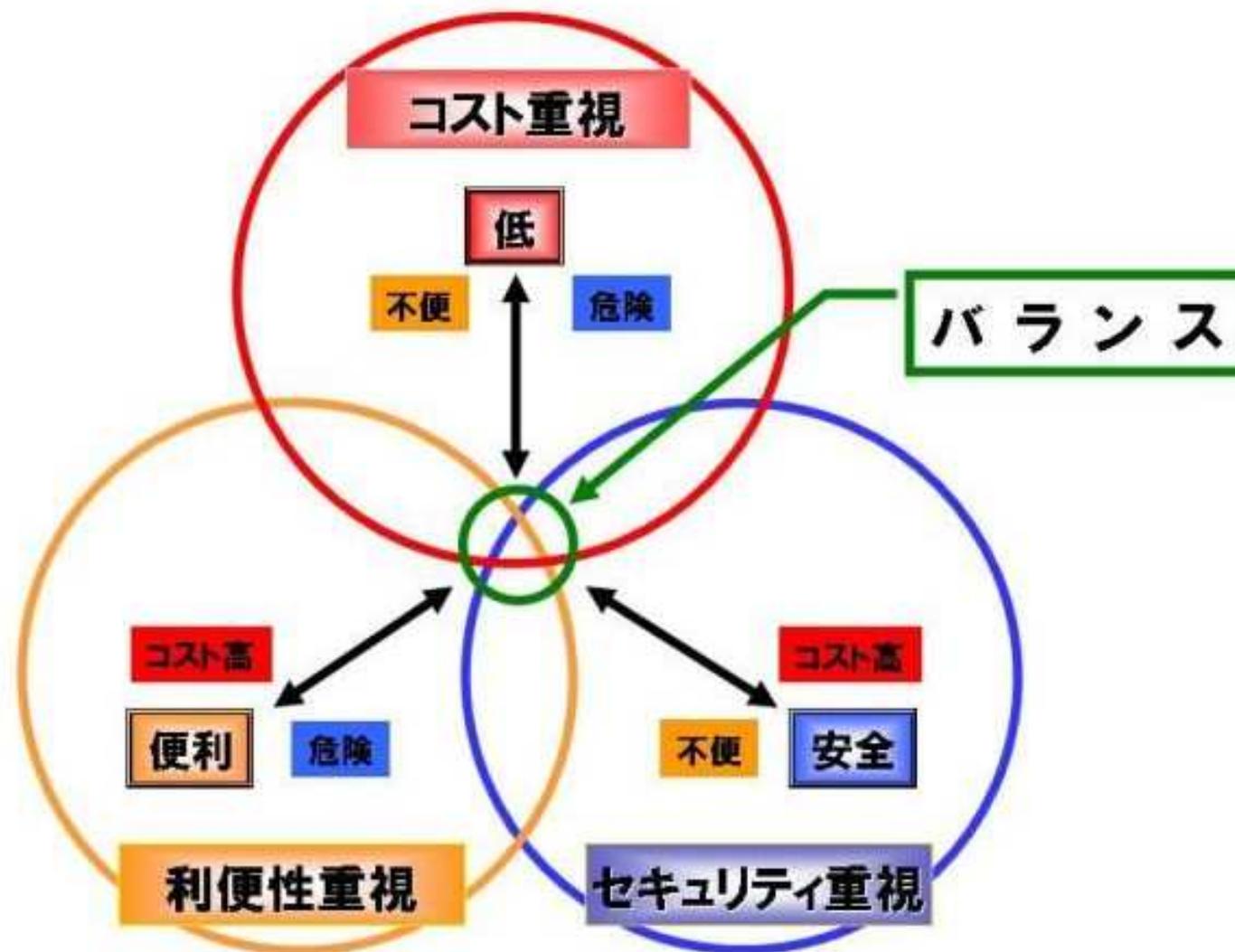
- すべての情報を持ち出し禁止！
- USBメモリは一切使わない！
- 電子メールも使わない！
- パスワードは毎月変更！

みんなが **守れる** ルールづくりを！



「コスト・セキュリティ・利便性」バランスの概念

組織的な対策①
ルールづくり



組織的な対策②

物理的セキュリティ



図 8-3 校内 LAN の活用イメージ

完全性

可用性

機密性

組織的な対策②

物理的セキュリティ



機密性

組織的な対策②

物理的セキュリティ



図 8-3 校内 LAN の活用イメージ

組織的な対策③ 校内研修

ルール
の徹底

意識の
向上

問題の
洗出し



完全性

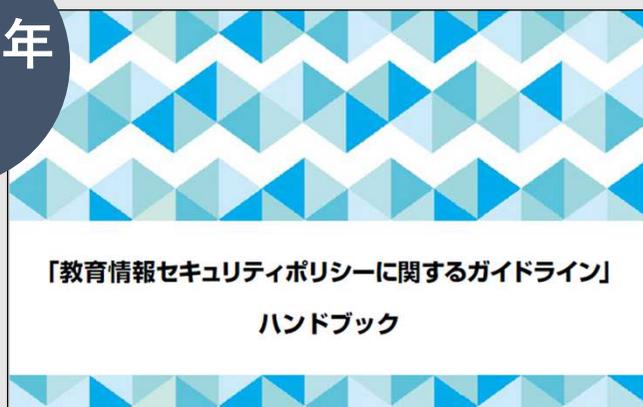
可用性

機密性



教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン

平成29年
11月



令和元年
12月

追記版

教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン
(令和元年12月版)

教育情報セキュリティポリシー 文部科学省

検索



ガイドラインの構成を見直し
クラウドサービスに関する考え方など追記



出典：https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm

1.3. 地方公共団体における 教育情報セキュリティの考え方 (P.9～10)

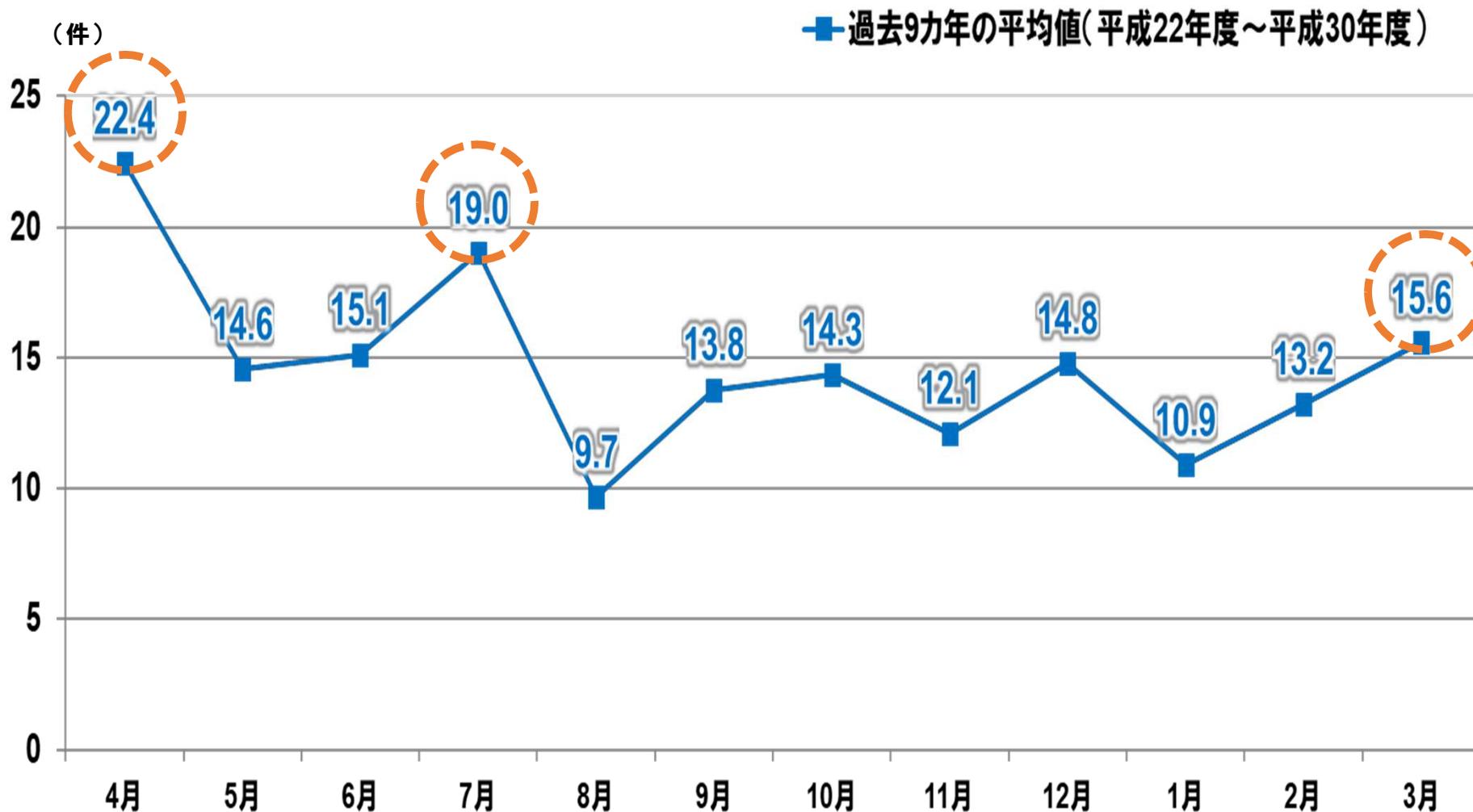
- ① 組織体制を確立すること
- ② 児童生徒による機微情報へのアクセスリスクへの対応を行うこと
- ③ インターネット経由による標的型攻撃等のリスクへの対応を行うこと
- ④ 教育現場の実態を踏まえた情報セキュリティ対策を確立させること
- ⑤ 教職員の情報セキュリティに関する意識の醸成を図ること
- ⑥ 教職員の業務負担軽減及びICTを活用した多様な学習の実現を図ること

出典：教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン 令和元年12月版



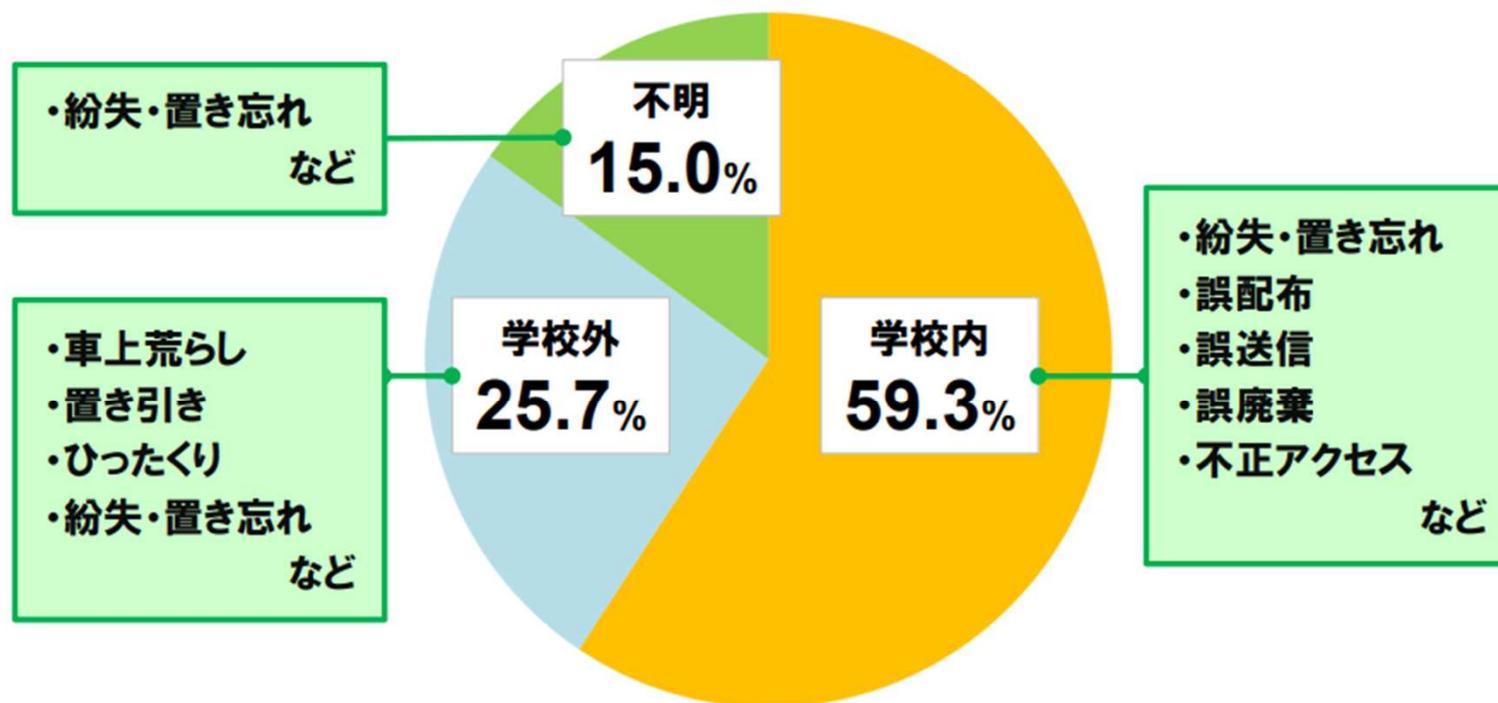
月別 事故発生件数 過去9カ年の平均値

◆ 4月(年度始め)や7月、3月(学期末・成績処理の時期)に事故が多く発生しました。



令和元年度 発生場所別 事故発生比率

◆ 情報漏えい事故は、学校内でも学校外でも発生しています。



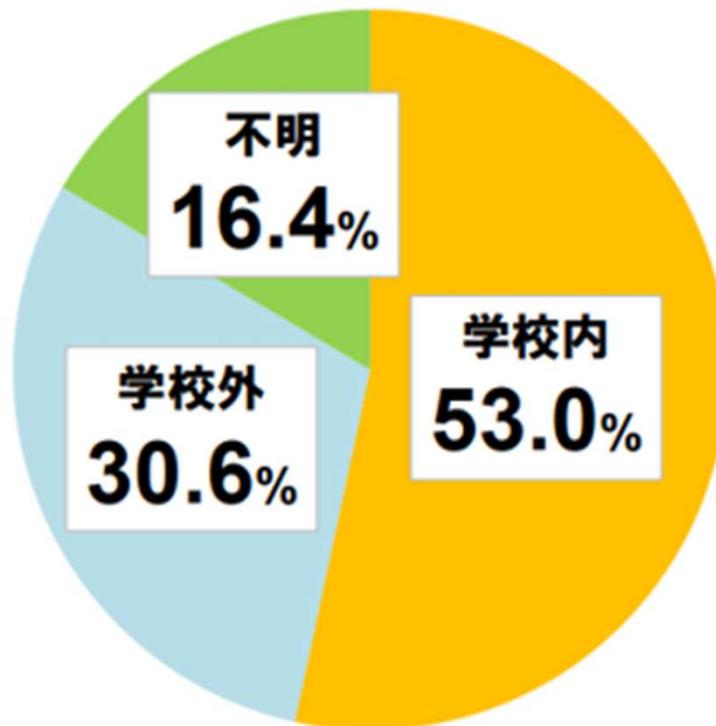
学校内と学校外、両方の対策を講じる必要があります。



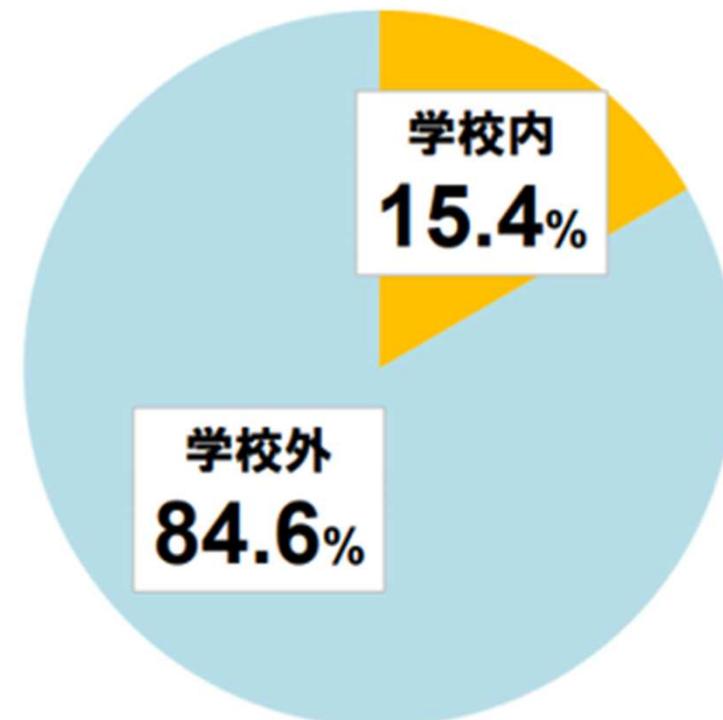
令和元年度 「紛失・置き忘れ」「盗難」の発生場所別 事故発生比率

- ◆ 「紛失・置き忘れ」事故は、学校内でも学校外でも発生しました。発生場所がわかっていない事故もありました。
- ◆ 「盗難」事故の多くは、学校外で発生しました。

紛失・置き忘れ

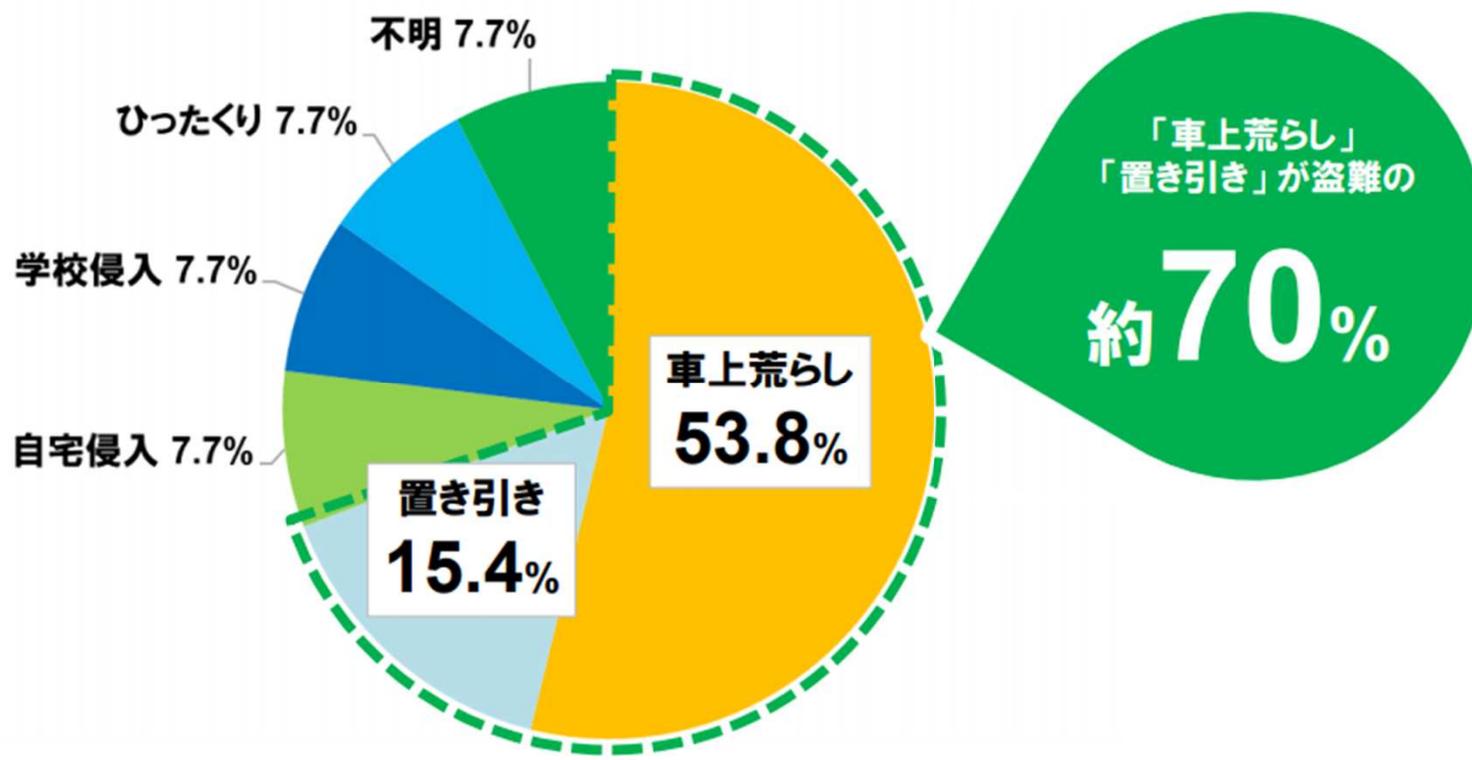


盗難



令和元年度 「盗難」の種類別 事故発生比率

- ◆ 「盗難」被害の約70%は「車上荒らし」「置き引き」でした。
そのほか、「自宅侵入」や「学校侵入」など、盗難の手口はさまざまです。

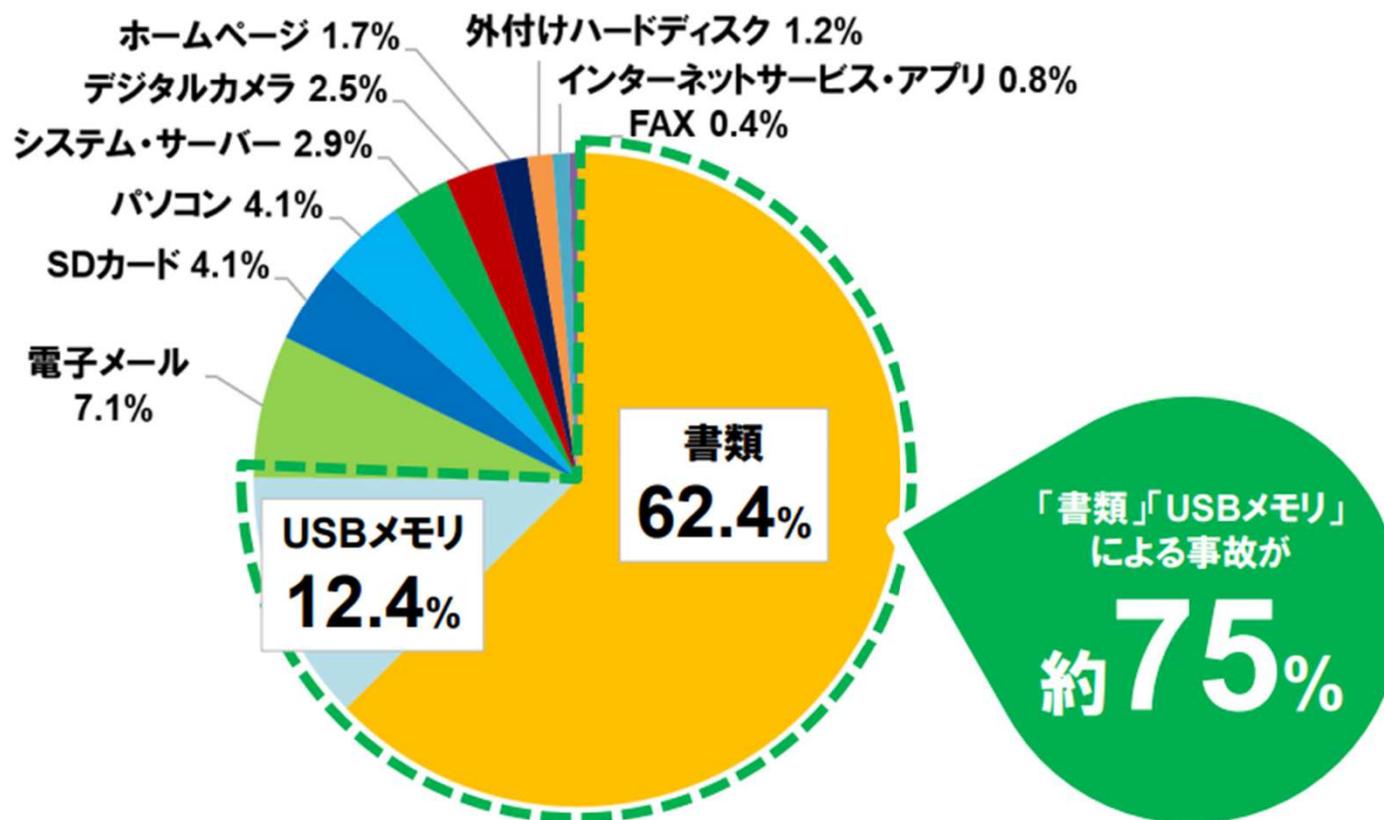


個人情報在校外へ持ち出す場合と、学校内で管理する場合、両方の対策が必要です。車上荒らしの被害が多く発生しています。車通勤の先生方は、特に注意が必要です。



令和元年度 漏えい経路・媒体別 事故発生比率

- ◆ 漏えいした経路・媒体は、最も多かったのが「書類」で、二番目に多かったのが「USBメモリ」でした。



※1件の事故で複数の媒体から漏えいした場合は、漏えいしたすべての媒体の数を加えています。



個人の意識
啓発の大切さ

情報漏えい事故は…、

個人の過失

が主な原因です！



個人の意識 啓発の大切さ

情報セキュリティ対策 一人ひとりができる ちょっとした工夫

- 1 USBメモリに、今、必要でない情報はありますか
- 2 おしゃべりのトーンが高くなっていませんか
- 3 デスクトップが丸見えではありませんか
- 4 ネットカフェなどで、
自分のものではないパソコンを利用しますか



出典：教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会
<https://school-security.jp/contents/knowledge/>



日常に潜む危険チェックシート



日常に潜む危険チェックシート



